



**2013年3月
福島土壤
スクリーニング支援**
(農地の放射性物質分布マップ製作)

20、30年後の未来を見据えて、これからも福島を応援していくたいと思います。
(職員 大山 豊さん)

**みやぎ生協 仮設住宅の
ふれあい喫茶に
お菓子をおくる活動**

中濃支所エリア委員会でふれあい喫茶におくるお菓子を相談。『郡上と言ったら踊りしるこ! 器に浮かぶ浴衣姿の女性がクレクレ…』『しるこを食べながら少しでも楽しい会話が広がれば嬉しいな!』全員一致で、このしるこをおくることになりました。
(中濃支所 エリア委員会)

くらし応援募金

たくさんのお気持ち、ありがとうございます。
組合員さんのお気持ちをいたせつに、福島を応援する様々な取り組みに使わせていただいているます。
(職員 高橋 勤さん)

2013年度 3月21日～1月20日まで
くらし応援募金 3,291,365円



2013年10月
「福島県産コシヒカリ」の产地で
米づくり体験
生産者と交流しました

除染や検査などの対策をしっかりされ、アライドを持ってお米を作っておられることが印象的でした。(職員 福永博隆さん)

現地を訪れ、県土の広さ、地形、気候、生産者や販売者(JA等)や行政の熱意にふれ、不安は少しづつ薄らいでいました。何と言っても全量全袋検査の徹底ぶりと、土壌管理は凄い!莫大な費用はかかっても、生産者がずっと農業を続けられるように県をあげて取り組んでいる姿を少しでも多くの方に伝えたいでです!
(組合員理事 武山 由香さん)



**2013年7月
ふくしまの子どもたち
保養企画**
(KIプロジェクト主催)

嬉しそうに遊んでくれる
子どもたちの笑顔を見ると、私たちも元気になります!
(組合員理事 林 喜美子さん)

(岐阜県森林アカデミーにて)

わたしにできること つないで"ひろげて"

2013年度も、東日本大震災の復興支援に継続して取り組んできました。

参加した組合員さんや職員の声を紹介します。

大切なのは忘れないこと。これからも少しずつ、できることに関わっていきませんか?



まだまだ風化させては
いけない
週刊コープぎふでボランティアバ
スの案内を見て長期休暇でなくとも
東北に行けることを知り、自分の目
や耳で見てきたこと、聞いてきたこ
とを、周りの人伝えたいという思
いで主人とともに参加しました。

被災地の方々の
笑顔に触れて
前を向いて一歩一歩進んでいけ
ば、必ず復興は成し遂げられると、
被災地の方々の笑顔を見て確信し
ました。まだ復興とは遠い現実です
が、一日でも早く家族とともにあた
たかい家に暮らしてほ
しいと願い
ます。



勇気と元気を
いたしました
実は、ボランティアの参加は今
回で3回目、この日の東北はそれ
ほど寒くなく、空は真っ青で澄み
切っていました。前回まではガレキ
の処理や畑の石拾いで、ボランティ
アの方や東北の方と交流する機会が
なかったのですが、今回は焼き出し
のお手伝いだったので、いっぱい交
流ができ、たいへん楽しかったです。
一緒に参加したボランティアの方々
からは勇気を、東北の方々からは元
氣をいただき、エネルギーが満タン
になりました。ボランティアは相手
の力になると思ってやっていること
が、実は自分の力になつていくので
すね。明日からの仕事、がんばろう
と思いました。

大野町 桑原浩美さん



桑原浩美さんと、いっしょに参加した
ご主人の英明さん

**ボランティア
エネルギー満タンです!**

**ボランティア
バス参加**
(KIプロジェクト主催)

